

第3次江南市生涯学習基本計画

令和7(2025)年度～令和16(2034)年度

— みんなでつくる「いつでも、どこでも、だれでも」学べる 生涯学習のまち こうなん —

計画策定の背景と目的

近年は、少子高齢化、人口減少の進行、国際化、情報化の進展、環境問題の深刻化、新型コロナウイルス感染症による新たな生活様式への対応など、私達を取り巻く生活環境は大きく変化しています。また、自分らしさが尊重される社会の中で、余暇や、休日の過ごし方を重要視する傾向があり、人生を豊かにするための多様な生涯学習のニーズも高まっています。

現在の社会では、だれもがあらゆる機会、場所において自分らしく学ぶことができ、多様な個人がそれぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる「ウェルビーイング^{*}」を実現させる未来が望まれています。

そのため本計画は、現在の社会の課題や市民の多様なニーズに応えるため、生涯学習活動の有効かつ効果的な推進を図るためのガイドラインを示すものであり、様々な分野にわたる事業を総合かつ体系的に捉え、学習の成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現を目指していくことを目的とします。

^{*}ウェルビーイングとは、well(よい)とbeing(状態)からなる言葉。身体的、精神的、社会的によい状態にあること。

生涯学習とは

生涯学習とは、市民一人ひとりが興味や生きがいを感じる学習の素材を自由な意思で選択し、学習形態にとらわれずに、人生を豊かにするために学ぶ活動(学習活動)です。

つまり、社会教育、学校教育、家庭教育の学習活動を含み、子どもから大人まで将来にわたり、生活していくために必要な知識や技術の習得、さらには趣味や文化活動、スポーツ、レクリエーション、ボランティアなど自らの目的に応じて、自主的な意志に基づき行うさまざまな学習活動をいいます。

また、学習活動を行った結果、その成果が身に付き、学習の成果を発表したり伝えたりすることにより、地域活動やボランティア活動、まちづくり活動へとつながる学習活動として捉えることができます。

計画の位置づけ

「第6次江南市総合計画」を上位計画とし、スポーツ、児童、福祉をはじめ、多岐の分野にわたる計画であり、各々の分野での施策の基本方針との連携を図っていくものです。また、子どもの読書活動の推進を、市全体の生涯学習活動と一体的に調和する必要があることから、「江南市子ども読書活動推進計画」を統合しました。

計画の期間

令和7(2025)年度から令和16(2034)年度まで(10年間)

社会情勢や市民のニーズの変化等に対応するため、必要に応じて見直しを図ります。

計画の基本理念

目指す生涯学習社会とは、

- ○いつでも、どこでも、だれでも、自発的に学習し、自己を高め、充実した生活を送ることのできる社会
- ○生涯を通して、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、それが適切に評価され、生活のあらゆる場に生かすことができる社会
- ○一人ひとりが学習活動で生きがいを見つけ、習得した成果を活用し、人と人とのつながりによって学習活動を発展させることができる社会



です。

これらの生涯学習社会の実現を目指すとともに、市民の主体的な参加によって、だれもが、その人の学びやすい時間、場所で生涯学習を行うことができる生涯学習のまちを目指すため、本計画の基本理念を次のように設定します。

みんなでつくる「いつでも、どこでも、だれでも」学べる 生涯学習のまち こうなん

基本目標

基本目標
1

みんなでつくる生涯学習

生涯学習活動には、学校や地域、家庭、市民、市民ボランティアなど多くの人や、機関の連携が求められます。多様化する学習ニーズに的確に対応し、活発な生涯学習を展開するために、連携の仕組みづくりが重要です。また、そこから繋がる文化振興、多文化共生・交流、世代間交流などの連携から生まれる生涯学習の展開に努めます。

基本目標
2

いつでもどこでも学べる生涯学習情報の提供、環境の整備

だれ一人取り残されず、市民が、いつでもどこでも学ぶ機会が得られるための情報提供に努めます。

学習ニーズの高度化、多様化に対応するため、既存施設の有効的な活用と生涯学習拠点の整備に努めます。

基本目標
3

だれでも学べる生涯学習

市民のニーズは世代によって異なり、また変化の激しい社会状況においては、社会的ニーズも大きく変化しています。市民の様々なニーズを十分に把握し、生涯学習の提供に努めます。

また、読書も生涯学習の手段です。図書館や古北にじいる会館内にある図書館分室の充実とともに、市民のより良い読書活動の推進に努めます。

施策の体系

基本理念

基本目標

施策の方向性

みんなでつくる「いつでもどこでも、だれでも」学べる生涯学習のまちこうなん

1 みんなでつくる生涯学習



1 学校と地域の連携・協働

2 まちづくりにつながる学習の展開

3 交流による生涯学習の実践

2 いつでもどこでも学べる生涯学習情報の提供、環境の整備



1 多様な生涯学習情報の発信

2 施設を活用した生涯学習の展開

3 生涯学習拠点の整備

3 だれでも学べる生涯学習



1 対象者に応じた学習の展開

2 多様なニーズを考慮した学習機会の提供

3 生涯スポーツの推進

4 読書活動の推進

5 身近な地域資源の活用

成果目標

指 標	担当課	現状値	目標値	
		令和5年度	令和12年度	令和16年度
基本目標1「みんなでつくる生涯学習」				
青少年健全育成推進連絡協議会講演会への参加者数(人)	生涯学習課	146 (令和6年度)	175	200
地域交流センター利用者数(人)	企画課	18,478	18,489	18,500
NPOボランティア講座参加者数(人)	企画課	100	125	150
中学生の地域ボランティア参加者数(人)	教育課	260	270	280
国際交流フェスティバルの参加者数(人)	生涯学習課	1,200 (令和6年度)	1,500	1,800
基本目標2「いつでもどこでも学べる生涯学習情報の提供、環境の整備」				
情報発信の充実(%)	生涯学習課	23.3	25	30
図書館企画事業参加者数(人)	生涯学習課	大人:3,279 子ども:3,303	大人:3,500 子ども:3,500	大人:3,700 子ども:3,700
図書館の施設満足度(%)	生涯学習課	89	92	95
図書館の蔵書冊数(冊)	生涯学習課	179,455	22万	27万
基本目標3「だれでも学べる生涯学習」				
中学2年生による職場体験(受入事業所数)	教育課	268	280	300
社会人になってからも、定期的な学習をしている市民の割合(%) ※市民満足度調査より	生涯学習課	46.2	51	53
川と海のクリーン大作戦参加者数(人)	下水道課	1,144	1,170	1,200
男女共同参画に関するセミナー等への参加割合(%)	市民サービス課	41.1	65.0	95.0
防火講話の開催(回)	消防予防課	1	3	5
応急手当講習会の受講者数(人)	消防署	6,320	6,500	6,700
参加しやすいスポーツ事業の推進、楽しみん祭参加者数(人)	スポーツ推進課	116	130	140
子どもの不読率※(%)	生涯学習課	小2:10.0 小5:10.5 中2:29.1 高2:59.2	小2:8 小5:8 中2:25 高2:55	小2:6 小5:6 中2:20 高2:52
登録者一人当たりの図書の貸出冊数(冊)	生涯学習課	9.3	12	13
生涯学習講師人材バンクの登録件数(件)	生涯学習課	87	92	97

※不読率とは、1か月の間に1冊も本を読まなかった児童、生徒の割合のことを指す。

第3次江南市生涯学習基本計画 概要版 令和7年3月

発行:江南市 編集:教育部 生涯学習課

〒483-8701 愛知県江南市赤童子町大堀90番地 電話:0587-54-1111 FAX:0587-56-5517

